

褥瘡発生率

定 義

令和3年度1年間での、褥瘡発生率（入院してから新しく褥瘡を作った患者比率（％））です。
自重による褥瘡以外、MDRPU(医療関連機器圧迫創傷)も含めます。

算 式

分子：新規褥瘡発生患者数

分母：年間入院患者数

当院の値（調査期間）

R3年度 **0.51** %（年間）

R2年度 **0.33** %（年間）

R1年度 **0.26** %（年間）

H30年度 **0.35** %（年間）

項目の解説

入院中に発生した褥瘡（床ずれ）は、患者のQOLを低下させ、入院の長期化につながることもあります。予防可能な褥瘡については、適切な診療やケアにより、発生を回避することができます。当該指標は予防への取り組みとその効果を示す指標です。

なお、各国立大学病院における褥瘡への取り組みの一環として、患者の褥瘡のサーベイランス（発生状況を経時的にモニタリングすることにより、褥瘡の蔓延と予防に役立てるシステム）の精度に影響を受けることを考慮する必要があります。